

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公表番号】特表2018-517326(P2018-517326A)

【公表日】平成30年6月28日(2018.6.28)

【年通号数】公開・登録公報2018-024

【出願番号】特願2017-552991(P2017-552991)

【国際特許分類】

H 04 W 28/22 (2009.01)

H 04 W 36/14 (2009.01)

【F I】

H 04 W 28/22

H 04 W 36/14

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月13日(2019.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第2のユーザ機器(UE)におけるワイヤレス通信のための方法であって、前記方法は、前記第2のUEにおいて実行され、

前記第2のUEと通信している第1のUEの潜在的ハンドオフを示す情報を受信することと、

ハンドオフ情報を記憶するデータ構造に記憶された情報に基づいて、通信遅延またはジッタプロファイルのうちの少なくとも1つについての特定の情報を決定することと、

前記潜在的ハンドオフを示す前記情報および前記特定の情報に基づいて、前記潜在的ハンドオフが起きる前に、前記通信についての通信パラメータまたは通信レートを調整することと、

を備える方法。

【請求項2】

前記通信パラメータの期待値を決定することと、前記通信パラメータの前記期待値は前記潜在的ハンドオフ中に予期される、

前記通信パラメータの前記期待値が前記パラメータの特定の値の閾値内にないと決定することと、

をさらに備え、

ここにおいて、前記通信パラメータまたは前記通信レートを調整することは、

前記通信パラメータの前記期待値が前記パラメータの前記特定の値の前記閾値内にないと決定したことに基づいて、前記通信パラメータまたは前記通信レートを調整することと、

をさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記潜在的ハンドオフを示す前記情報を受信したことに基づいて、前記通信レートに対する調整を決定するために、レート適応アルゴリズムを利用することをさらに備え、

ここにおいて、前記通信レートまたは前記通信パラメータを調整することは、

前記通信レートに対する前記調整を決定したことに基づいて、ビデオテレフォニーエ

ンコーダレートを調整することをさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記潜在的ハンドオフを示す前記情報に基づいて、前記通信に関連付けられた推定アップリンクまたはダウンリンクレートを決定することと、

前記潜在的ハンドオフの指示を受信した後、前記推定アップリンクまたはダウンリンクレートに基づいて、前記通信パラメータまたは前記通信レートを調整することと、
をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記潜在的ハンドオフが起きていないことを示す情報を受信することと、
前記潜在的ハンドオフが起きていないことを示す前記情報を受信したことに基づいて、
前記通信パラメータまたは前記通信レートを調整することと、
をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記潜在的ハンドオフが完了されたことを示す情報を受信することと、
前記潜在的ハンドオフが完了されたことを示す前記情報を受信したことに基づいて、
前記通信パラメータまたは前記通信レートを調整することと、
をさらに備え、

ここにおいて、前記潜在的ハンドオフを示す前記情報または前記潜在的ハンドオフが完了されたことを示す前記情報は、リアルタイムトランSPORTプロトコル（RTP）制御プロトコル（RTCP）メッセージまたは汎用アプリケーションレイヤシグナリングメッセージのうちの少なくとも 1 つを介して受信される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記通信に関連付けられたジッタの量を示す情報を受信すること、ここにおいて、前記ジッタの量は、前記潜在的ハンドオフを受ける前記第 1 の UE に関連付けられ、およびここにおいて、前記ジッタの量は、前記第 1 の UE が前記潜在的ハンドオフを受ける前の前記通信に関連付けられたジッタの量よりも大きい、または

前記通信に関連付けられたパケット遅延の量を示す情報を受信すること、ここにおいて、前記パケット遅延の量は、前記潜在的ハンドオフを受ける前記第 1 の UE に関連付けられ、およびここにおいて、前記パケット遅延の量は、前記第 1 の UE が前記潜在的ハンドオフを受ける前の前記通信に関連付けられたパケット遅延の量よりも大きい、

前記ジッタの量を示す前記情報または前記パケット遅延の量を示す前記情報を受信した後、前記通信レートを維持することと、

をさらに備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

ワイヤレス通信のための第 2 のユーザ機器（UE）であって、
1 つまたは複数のプロセッサと、
前記 1 つまたは複数のプロセッサと電子通信しているメモリと、
を備え、

前記メモリは、前記 1 つまたは複数のプロセッサによって実行されるとき、

前記第 2 の UE と通信している第 1 の UE の潜在的ハンドオフを示す情報を受信することと、

ハンドオフ情報を記憶するデータ構造に記憶された情報に基づいて、通信遅延またはジッタプロファイルのうちの少なくとも 1 つについての特定の情報を決定することと、

前記潜在的ハンドオフを示す前記情報および前記特定の情報に基づいて、前記潜在的ハンドオフが起きる前に、前記通信についての通信パラメータまたは通信レートを調整することと、

を前記デバイスに行わせる命令を備える、

第 2 の UE。

【請求項 9】

第 1 のユーザ機器（UE）におけるワイヤレス通信のための方法であって、前記方法は

、前記第1のUEにおいて実行され、

第2のUEとの通信中に潜在的ハンドオフを識別することと、

1つまたは複数の先行ハンドオフに基づいて、前記潜在的ハンドオフの前に、前記潜在的ハンドオフについての情報を決定することと、

前記第2のUEに、前記潜在的ハンドオフの前に、前記潜在的ハンドオフについての前記情報を提供することと、

ハンドオフ情報を記憶するデータ構造に記憶された情報に基づいて、通信遅延またはジッタプロファイルのうちの少なくとも1つについての特定の情報を決定することと、

前記潜在的ハンドオフについての前記情報および前記特定の情報に基づいて、前記潜在的ハンドオフが起きる前に、前記第2のUEとの前記通信についての通信パラメータまたは通信レートを調整することと、

を備える方法。

【請求項10】

前記通信レートに対する前記調整を決定するために、レート適応アルゴリズムを利用することをさらに備える、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記潜在的ハンドオフを識別することは、

動きプロセッサ情報、

信号強度情報、または

無線アクセス技術(RAT)シグナリング情報、

のうちの少なくとも1つに基づいて、前記潜在的ハンドオフを識別することをさらに備える、請求項9に記載の方法。

【請求項12】

前記潜在的ハンドオフが完了されたと決定することと、

前記潜在的ハンドオフが特定のタイプのハンドオフであると決定することと、

前記第2のUEに、前記潜在的ハンドオフが完了されたと決定したことに基づいて、およびハンドオフの前記特定のタイプに基づいて、前記通信パラメータまたは通信レートアルゴリズムをリセットすることに関連付けられた情報を提供することと、

をさらに備える、請求項9に記載の方法。

【請求項13】

前記潜在的ハンドオフが完了されたと決定することと、

前記潜在的ハンドオフが完了された後、前記潜在的ハンドオフに関連付けられた情報をデータ構造に記憶することと、

をさらに備える、請求項9に記載の方法。

【請求項14】

前記潜在的ハンドオフが完了されたと決定することと、

前記潜在的ハンドオフが完了された後、前記通信パラメータまたは前記通信レートを調整することと、

をさらに備える、請求項9に記載の方法。

【請求項15】

ワイヤレス通信のための第1のユーザ機器(UE)であって、

1つまたは複数のプロセッサと、

前記1つまたは複数のプロセッサと電子通信しているメモリと、

を備え、

前記メモリは、前記1つまたは複数のプロセッサによって実行されるとき、

第2のUEとの通信中に潜在的ハンドオフを識別することと、

1つまたは複数の先行ハンドオフに基づいて、前記潜在的ハンドオフの前に、前記潜在的ハンドオフについての情報を決定することと、

前記第2のUEに、前記潜在的ハンドオフの前に、前記潜在的ハンドオフについての前記情報を提供することと、

ハンドオフ情報を記憶するデータ構造に記憶された情報に基づいて、通信遅延またはジッタプロファイルのうちの少なくとも1つについての特定の情報を決定することと、

前記潜在的ハンドオフに関連付けられた前記情報および前記特定の情報に基づいて、前記潜在的ハンドオフが起きる前に、前記第2のUEとの前記通信に関連付けられた通信パラメータまたは通信レートを調整することと、_____

を前記デバイスに行わせる命令を備える、

第1のUE。